

DATA WATCH

中国保険市場—成長の伸びしろ

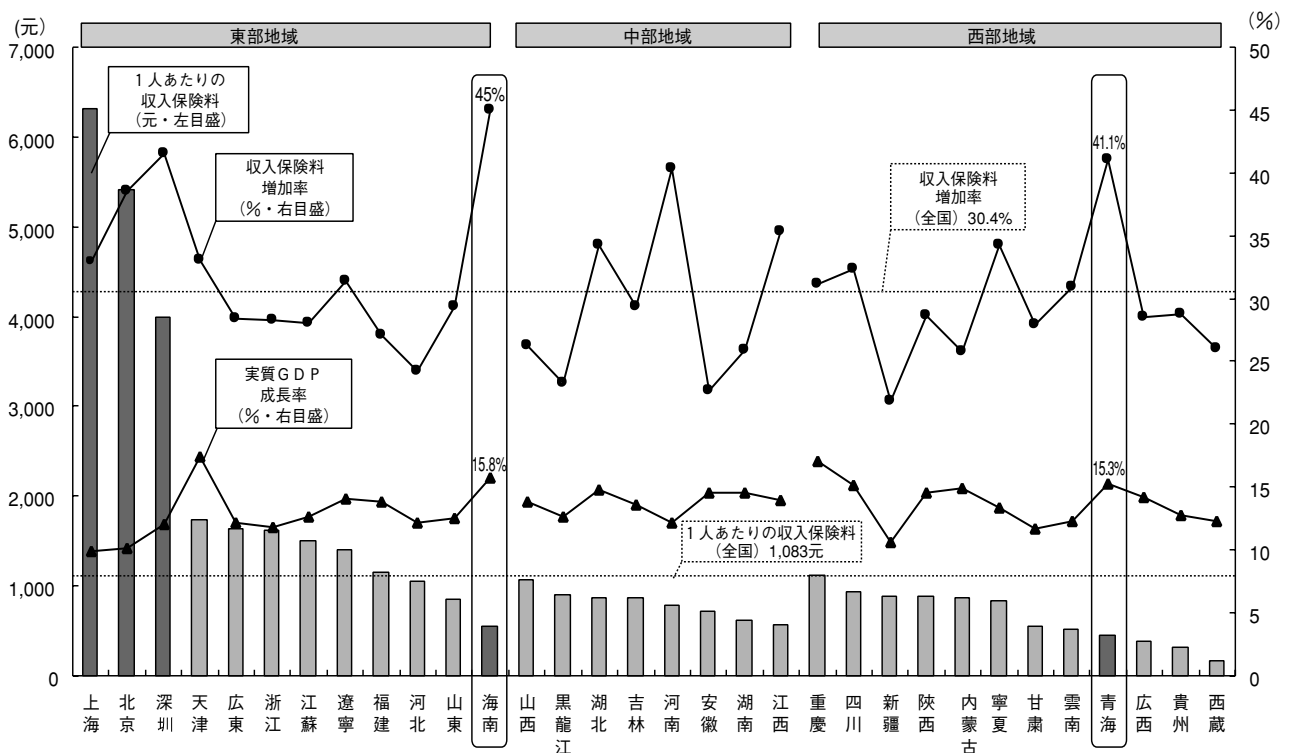
保険研究部門 研究員 片山 ゆき
katayama@nli-research.co.jp

中国では保険がどれくらい普及しているのか。2010年の人口1人あたりの収入保険料は1,083元（約13,000円）とされているが、地域によって大きな格差があるのが現状である。

地域別の1人あたり収入保険料を見ると、上海市、北京市、深圳市と経済発展が進んだ東部地域の3都市が他市・他地域よりも突出して多く、普及も進んでいる。1人あたりの収入保険料が最も多い上海市では6,310元（約76,000円）と前述の全国平均値の6倍である。一方、最も少ない西藏（チベット）自治区では172.6元（約2,000円）と全国平均値の2割にも満たない。

他方、各地域の成長性に目を向けると、上海・北京といった既存の市場から新たな市場へのシフトも見られる。収入保険料の増加率と各地域のGDP成長率にはプラスの相関がみられ、世界トップクラスのリゾート地を目指して開発が進む海南省や、西部大開発の一環としてインフラ整備やエネルギー開発が進む青海省といった経済成長が好調な地域で、2010年の収入保険料が前年比4割増と大幅に増加している。これらの地域では現在の市場規模こそ小さいものの、潜在的な成長力を見込んで中国系保険会社を中心に拠点が増加しており、新たな市場の獲得を目指した競争が繰り広げられている。

[図表-1] 各地域における保険の普及状況（2010年）



(資料) 中国人民銀行 2010年中国区域金融運行報告 (各地域)、中国保険監督管理委員会統計データ